

第2回向日市中学校給食検討委員会 会議録

日 時	平成27年10月28日（水）午後3時～5時
場 所	向日市民会館第1会議室
出席委員	大谷委員長、藤井副委員長、縄手委員、富田委員、寺井委員、長坂委員、西森委員、森崎委員、西山委員、岩野委員、野田委員、今西委員
欠席委員	宮前委員
事 務 局	永野教育長、吉田学校教育課長、小畑学校教育課担当課長、奥村学校教育課担当課長、楠堂学校教育課主査、浦元教育総務課長
内 容	1 アンケート調査について 2 先進地視察について
傍 聴 者	9名
事務局	○会議録の承認
委員長	○教育長挨拶 開会 ○会議の成立 ○傍聴者入場 ○内容1 アンケート調査について 事務局から説明願う。
事務局	事前にお送りしました資料からの変更点について2点ご連絡する。 1つ目“児童用”“生徒用”の2つのアンケートにおいて、【問3-3】の「家庭の弁当」を選択した理由を尋ねる設問の選択肢に、他の保護者アンケートとの統一を図り、「食物アレルギー対応が細やかにできるから」という選択肢を追加した。 同じく“児童用”“生徒用”アンケートにおいて、各設問の回答者について明示している文の表現の変更を行ってる。具体的には、問2の設問において、当初、「全員の方にお聞きします。」としていたのを「全員にお聞きします。」、また【問3-1】のように「選択肢番号と回答の方にお聞きしま

	す」としていたのを、「「選択肢番号」と答えた人にお聞きします」と言い回しを児童生徒にわかりやすいように変更した。 改めて前回検討委員会で提示しました「素案」からの変更点を説明する。 まず、各アンケートの1枚目に、用語説明として「給食の実施の仕方」に対する説明を追加した。また、説明を加えたことにより素案の段階で「弁当箱に盛り付けられた給食」という表現を「弁当給食」という表現に変更している。 次に、前回の検討委員会をふまえ、設問の順番の並び替えを行い、「中学校の昼食」に対する設問を第1問とした。 また、文末表現の統一を図り、具体的には、2枚目以降【問3-1～3-4】のような選択の理由を尋ねる設問において、文末の表現を「～から」に統一した。 あわせて、選択肢の順番を、その選択の性質により順番を並び替えた。 具体的には、【問3-2】のように“1”と“2”が給食そのものに対する回答。“3”と“4”のように作業や手間に対する回答にまとめ、選択肢の順番を変更する。 その他、設問全体において内容がわかりやすいように軽微な表現の変更を行った。 次に、各アンケート共通の変更点として、素案の段階で「アレルギー」を「食物アレルギー」に変更している。 また、「選択できる昼食」の選択肢に「献立表を見て、日にちごとに選ぶことができる」という理由を追加した。 児童を除いた各アンケートの「中学校給食に期待すること」の選択肢に、「伝統的な食文化について理解を深めること」を追加した。 最後に、各アンケートの個別の変更点として、“児童用”のアンケートについて「中学校給食」に期待することを追加、“児童用”アンケートの給食が良いと思う理由に「栄養バランス」を追加、“中学校教職員用”アンケートの「中学校給食に期待すること」の選択肢に「温かい昼食」をそれぞれ追加した。
委員長	まずは、児童用と生徒用から見ていただき、ご意見があればお願いしたい。
委員	小学生がアンケートに答えるときは、学校の先生と一緒に読み上げて回答するのか。
事務局	担任の先生が説明しながら、アンケートに答えられるよう考えている。
委員	児童用の【問3-4】「弁当を毎日つくるのは家族が大変だから」の選択肢が、【問3-1】【問3-2】にはないが、何か理由があるか。

事務局	【問２】で「小学校のような給食」や「弁当給食」を選択した場合には、家族が弁当を作ることを想定していないので、選択肢には入れていない。
委員	いろいろな家庭があると思うが、弁当を毎日作るのは大変だと聞いたことがあり、完全に給食になれば、その負担が減っている子がいるのかなと思った。
委員長	「弁当給食」については、業者弁当か、それとも学校で作ったものを弁当箱に入れてあるものか、どちらを想定しているのか。
委員	業者弁当を想定している。
委員長	業者弁当の場合でも栄養管理はされているので、「業者による弁当」と書く方が、誤解がないと考えるが、どうか。
委員	弁当を作るところが、業者なのか直営なのかではなく、弁当箱におかずを入れるということは、おかずは保冷された状態になり、「弁当給食」では、ごはんは温かいが、おかずが冷たくなるということを前提として、意見を聞かれているのだと思う。 他市では、市が献立を立てて食材を発注し、業者が調理を行っているとしている。例えば、その調理場所が、学校なのか、センターなのか、業者なのかという場合もあると思うので、ここでは、「弁当給食」は、業者弁当というより、弁当箱に入った給食と考えてもらった方が、わかりやすいと思う。
委員長	業者委託される弁当というのは、他市の例で、子どもたちの評判が悪かったり、中間マージンをとられるので直営とは違うイメージがある。スタートして何年も経って、改善されて美味しくなってきた事例も聞いているが、直営とは違うというイメージが私の中にある。
事務局	「弁当給食」は、民間業者が作る弁当を想定している。ここでは、「小学校のような給食」と異なる点を、おかずが温かいままで運ばれるのか、または、保冷されて運ばれるのかということを説明したかった。 こちらの想定が読み取れないようなら、伝わる表現に変えるようにしたい。
委員長	アンケートに答える子どもたちがどう理解するかということに、十分配慮する必要があると思う。
委員	用語説明では、「小学校のような給食」と「弁当給食」がどう違うのか、よくわからなかった。このままだと「小学校のような給食」が食缶ではなく、弁当として学校に配られるような誤解をされるのではないか。

	「小学校のような給食」が弁当箱に入っているものでないのなら、誤解のないように書いた方が丁寧で良いと思う。
委員長	業者弁当とすると、違ったイメージが強くなるので、やさしく、わかりやすい言葉で説明されたら良いと思う。
委員	「弁当給食」になっても、他市で批判されているような「弁当給食」ではないものを向日市では考えておられると思う。用語説明を読んだ段階では、「弁当給食」は、弁当箱に入ってごはんは温かいがおかずは冷たい。長所としては、配膳時間が短いということなので、家庭から持って来る弁当との違いは、ごはんが温かいというのが、ひとつのメリットだと思う。 「小学校のような給食」だにごはんもおかずも温かい、「弁当給食」だにごはんは温かいがおかずは10℃という温度管理で保冷される。あえて、イメージの良くない業者弁当としない方が良いと思う。
委員長	アンケートの結果をまげてしまうことにならないように、用語について検討するという事で良いか。 他に何かないか。
委員	「小学校のような給食」は、自校方式、センター方式、親子方式ということか。
事務局	そのとおりです。
委員長	このアンケートの【問3-1】で、給食がおいしいという言葉がでてこない。温かいや栄養のバランスだけでなく、おいしいがあっても良いと思うし、それがすごく多いと、向日市の学校給食の評価になると思う。 他になれば、次は保護者用のアンケートについてはいかがか。
事務局	表紙について説明する。保護者用について、表紙をつけて、中学校給食の導入の検討資料をさせていただくこと、対象が小学校4年生から中学校2年生までの保護者であること、複数のお子さまがおられる場合は、上の学年のお子さまに用紙を配布すること、小学校と中学校の両方におられる場合は、それぞれに提出していただくこと、アンケートが無記名回答で、統計的な処理・集計を行うこと、クラス担任へ提出いただくことを案内している。
委員長	中学生保護者用の【問7】で、「コンビニなどで買ったおにぎりやパン」とあるが、弁当もあると思うが。
事務局	中学校ではコンビニの弁当を禁止されているところもある。

委員長	子どもが何を食べているか親が知らない、または、把握してない親もいると思うが、その場合は「その他」に記入するのか。 【問１０】で保護者に聞くのに、「朝食が用意されていないから」と聞くのは変な感じがするが、どうか。
事務局	【問１０】は「朝食を用意していないから」に訂正する。
委員	親の立場から見て、「その他」の選択肢がない質問がある。 それから、【問６】で「子どもの希望で」という場合は「その他」になるか。
委員長	【問６】に「子どもの希望で」という選択肢を入れていただきたい。 基本的には各質問の選択肢に「その他」はある方が良いと思う。
事務局	【問６】は「子どもの希望で」という選択肢を追加する。
委員	【問３－１】の「小学校の給食に慣れているから」というのは、具体的にどういうことを意味するのか。
事務局	小学校ではすでに給食を実施しているので、引き続き配膳等が苦にならずにできるというということで、選択肢に入れている。
委員	読んだときに違和感はなかった。子どもは小学校のような配膳システムに慣れており、今までと変わらない慣れ親しんでいるという選択肢であると考える。
委員長	向日市の小学校は自校方式であるが、中学校では自校方式とは限らないと思うが、小学校と同じ方式の給食と受け取られないか。
委員	先ほども確認があったように、自校で作る自校方式にしても、親校で作って持ってくる親子方式にしても、センターで作って運ばれるセンター方式にしても、子どもたちが給食室もしくは配膳室まで取りに行って、食缶に入ったものを食器に入れて食べるという意味で、「小学校のような給食」とまとめであると思う。
委員	子どもたちが小学校で食べていた給食と、そのまま一緒というのなら違和感はない。
委員長	他に何かないか。
委員	中学校保護者用の【問５】の選択肢で、お弁当を作るのが「毎日作ってい

事務局	る」、「週 3 から 4 回」、「週 1 から 2 回」「ほとんど作らない」とあるが、月に数回の場合の選択肢はないのか。 その時の都合やパンが食べたいなどいろいろな事情で弁当を作らないこともあると思うが、ここでは年間のトータルとして、どの程度弁当を作っているのかをお聞きしたいと思っている。 月 1 回程度で作らない場合にどう答えたらよいか悩むところであるが、選択肢に「その他」項目を入れる方が良いか。
委員	中学生の保護者としてこのアンケートを考えた時に、例えば月に 1 回でも弁当を作っていない日があると、「毎日作っている」を選ぶことを躊躇される方があると思う。親の都合や子どもの希望で作らないことがあるので、「ほぼ毎日」や「およそ週何回」と曖昧な表現にする方が答えやすいと思う。「その他」を作っても、どこに入るかわからず無回答になってはいけいないので、回答しやすいようにしてもらいたい。 また、【問 5】で「毎日作っている」を選択した方も、【問 6】【問 7】を除外せずに、全員の方に質問してはどうか。 それから、中学校保護者用の【問 1】のお子さんの学年に入っている「3 年生」はアンケートの対象外である。
委員長	アンケートに少しでも答えやすいようにしたいので、意見を踏まえ、事務局で検討願いたい。
委員	中学生の中には、自分で弁当を作る子がいて、そうすると、子どもは弁当を持って来ても、【問 5】では保護者は「作らない」ということになる。そうすると【問 6】の選択肢がない。中学生になると特に女子の場合は、家族の役割として自分で作っている家庭も結構ある。
委員長	大事なことなので、選択項目に入れていただきたい。 議題が次に進む前に事務局で変更点をまとめていただきたい。
事務局	全体で、用語説明の弁当給食では、外部で作ることがわかるように説明する。選択肢にその他がないものは加える。毎日という選択肢には、ほぼをつける。児童・生徒用で、【問 3－1】に小学校の給食がおいしいから、おいしかったからを加える。保護者用の【問 6】【問 10】の朝食を食べない理由で、朝食が用意されていないからを保護者の立場の表現に変更する。中学生保護者用の【問 6】弁当をつくっていない日がある理由の選択肢に、本人の希望と本人が作るを付け加える。【問 7】を全員対象にするなど。
委員	食物アレルギーによる除去食の対応などについては、給食が始まる段階で

	確認いただけたと思うが、保護者用の【問４】の中学校給食に期待することの選択肢として、「食物アレルギーへの対応」を入れる必要があるのか。
事務局	「食物アレルギーへの対応」を期待されているかをお聞きするため、選択肢に入れてある。
委員長	保護者に対するアンケートなので、あっても良いと思う。 次に教職員用はどうか。
委員	【問４】の課題について、「その他」を含め７つ項目あるが、２つまでの選択となると、それ以外の不安な点などを書くことができない。自由記述の項目があれば良いと思うが、その場合に集約が大変だと思うがどうか。
委員長	「その他」の項目に書いてもらっても、それ以外に、自由筆記で先生方に意見を伺う欄があっても良いと思うがどうか。
事務局	先生方が、不安に思われることはたくさんあると思うが、ここでは、先生方が何を一番の課題だと考えているのかをお聞きしたいと思っている。
委員長	【問４】の課題について、給食の方式によって課題が異なると思うが、そのあたりはいかがか。他市では、方式によっては、生徒指導の難しさがあるなど、聞いている。
事務局	自由筆記の欄を設けなくても、選択肢以外の課題や不安などを持っておられる先生は、「その他」項目に書かれると思う。
委員長	それで、よろしいか。
委員	小学校では、給食に異物があつた場合、学校はどのように対応しているのか。
委員	マニュアルを作成しており、異物混入があつた場合の報告や現物の保管、混入経路の確認など、学校で対応している。また、市教委にも報告しており、調理業者任せにはしていない。
委員長	アンケート内容について、他にご意見があれば、事務局の方へお聞かせください。 ○内容２ 先進地視察について

事務局	視察参考資料のように、自校方式・親子方式・センター方式・デリバリー方式について、献立の自由度やアレルギー対応、衛生管理等それぞれに特徴がある。次回視察をしてもらう時の参考に資料を作成している。先進地視察については、委員の予定も聞いているが、先方の都合もあり、自校方式は11月6日に箕面市第三中学校になったが、他については日程調整中であり、決まり次第連絡させてもらう。
委員長	先進地視察について事務局から説明いただいたが、質問はないか。 それでは、本日の議題はこれで終了とするが、他に発言はないか。
委員	このアンケートを11月に実施し、集約結果を基に方式等について検討することになると思うが、実際に中学校給食をスタートさせる時期については方式ごとでかなり違いがあると思う。弁当方式なら比較的早く実施できるかもしれないし、自校方式だと施設のこともあるのでかなり時間がかかると思っている。市としては中学校給食をいつごろ導入される考えなのか。
教育長	実施時期については決めていない。市長は任期中を目途にと議会で表明されている。この給食検討委員会では方式を含めてご議論をいただき、その上で教育委員会として行政的に詰めていかななくてはならないと考えている。はっきりとした導入年度を決めているものではないので、十分ご議論いただきたいと考えている。
委員	仮にアンケート結果が、「家庭の弁当」が一番望ましいという結果になった場合には、給食の導入については白紙と理解して良いか。
教育長	アンケート結果については、委員の皆さんと共に十分検討し、意見交換をさせていただきたいと思っている。児童・生徒、保護者及び教職員の方の意見がどのようになるか分からないが、十分にご議論いただけたら良いと思っている。
委員長	それでは、これでご意見は出尽くしたようなので、アンケートにご意見があるなら、事務局の方へお願いしたい。 閉会